

「だれもが『瞬間ボランティア』
—安全な地域づくりはあなたの一步から—

日本女子大学学術研究員
 ㈱ステップ総合研究所
 特非)体験型安全教育支援機構
 清水奈穂

©Institute of Safer Town Environmental Program
 ㈱ステップ総合研究所 禁無断転載コピー転用

1

- 株式会社ステップ総合研究所代表取締役所長、NPO法人体験型安全教育支援機構代表理事、日本女子大学学術研究員。教育学博士（日本女子大学）
- 放送大学講師、日本女子大学市民安全学研究センター研究員、文部科学省 資質の高い教員養成G P 研究員、科学技術振興機構「犯罪からの子どもの安全」研究委員、警察庁新しい安全安心まちづくり研究委員会委員、警察庁持続可能な安全安心まちづくり検討委員会委員、警察庁子どもと女性の安全対策検討委員会委員、内閣府子供・若者育成支援推進のための有識者会議構成員、など歴任。
- 現在、千葉県警察本部子ども安全アドバイザー、千葉県通学路推進事業 合同推進委員会委員（2021～現在）、全国防犯協会連合会優良防犯ブザー審査委員、こども家庭庁こども家庭審議会基本政策部会臨時委員等をつとめる
- 著書に、『犯罪と地震から子どもの命を守る！』（小学館 2012）、『少年非行の世界』（有斐閣、1998、共著）、『世界のいじめ』（信山社、2000、共著）、『あぶないときは いやです、だめです、いきません 子どもをまもる本』（岩崎書店 2022、単著）、『おおじしん、さがしてはしてまもるんだ』など

禁無断転載コピー ©株式会社ステップ総合研究所

2

犯罪の前兆をとらえる
6/3/2の原則

半年に**6**回＝見たり聞いたりした＝ヘンかな！

↓

1ヶ月に**3**回＝身近に見たし聞いた＝ヘンだ！

↓

1週間に**2**回＝実際に見た聞いた＝注意！危ない！！

こんな頻度に変化
 (2007年 元犯罪者調査より)

©Institute of Safer Town Environmental Program
 ㈱ステップ総合研究所 禁無断転載コピー転用

3

犯罪の基本的性質

犯罪はどこでも誰にでもおこる
＝犯罪者が『いいぞ』と思ったらおこる

許可無く、転載・コピー等を禁止いたします。

4

中-長期な取り組み方
—わたしの答え、その1—

地域の**構成員全員**が
・ボランティアになる
・ボランティアにする

↓

瞬間ボランティア®になる

©Institute of Safer Town Environmental Program 無断転載コピー転用 禁

5

瞬間ボランティア®

〈基本はちょっとしたお節介〉

- ①その必要に気が付いた人が
- ②気が付いたその場所で
- ③その時必要なことを
- ④その時必要とする人に
- ⑤誰から言われるのでもなく
- ⑥瞬間的に差し伸べる声・手・視線
ほほ笑み

©Institute of Safer Town Environmental Program 無断転載コピー転用 禁

6

問題は
「これもボランティアだ！」
と意識すること

意識しないことは
そう振る舞えない
意識させることが
みなさんのような
見守りボランティア・リーダーです

©Institute of Safer Town Environmental Program 無断転載コピー転用 禁

7

私たちの普段の生活は
幾枚ものプレートがしっかり組み合わさってできている

(個人生活)

(我がマチの生活)

©Institute of Safer Town Environmental Program 無断転載コピー転用 禁

8

そのプレート間に スキマ=割れ目ができれば

内部からの
犯罪の噴出

外部からの
犯罪の侵入

例：コロナ
による経済
不況

例：コロナによる
家庭不和

©Institute of Safer Town Environmental Program 無断転載コピー禁止

9

(例) 考えられる瞬間ボランティア

自助圏	自分の家	<ul style="list-style-type: none"> ・お庭お手入れ垣根越しボランティア ・お食事作りの窓越しボランティア
近助圏	相隣関係を含むご近所	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸端ボランティア ・ゴミ出しボランティア ・いってらっしゃいボランティア ・回覧板ボランティア ・電灯点灯ボランティア
共助圏	近所の日常用品を購入する町内	<ul style="list-style-type: none"> ・お買い物ボランティア ・ワンワンボランティア ・こんにちはお挨拶ボランティア
公助圏	子どもが通う小学校までの校区	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンワンボランティア ・おさんぽボランティア ・通勤通学路ボランティア

まだまだある

©Institute of Safer Town Environmental Program 無断転載コピー禁止

10

補足説明：20メートル内の心の変化

やる気度

開始 (ゆくぞ)

決定 (あれをやる)

選定 (あれかこれか)

認識 (やるう)

0m 6m 9m 14m 20m

許可無く、転載・コピー等を禁止いたします。

11

中-長期な取り組み方 —その2—

- ・地域の子どもは地域で育てる
- ・地域の子どもの安全は地域で守る

↓

中-長期的に見て
地域の子どもは地域で
安全を育む

©Institute of Safer Town Environmental Program 無断転載コピー禁止

12

これからの
地域子ども見守り
ボランティア活動は
 見守りボランティア活動から
 地域安全教育ボランティア活動へ
～見守りから教育へ軸足転換～

©Institute of Safer Town Environmental Program
 ㈱ステップ総合研究所 禁無断転載コピー転用 13

13

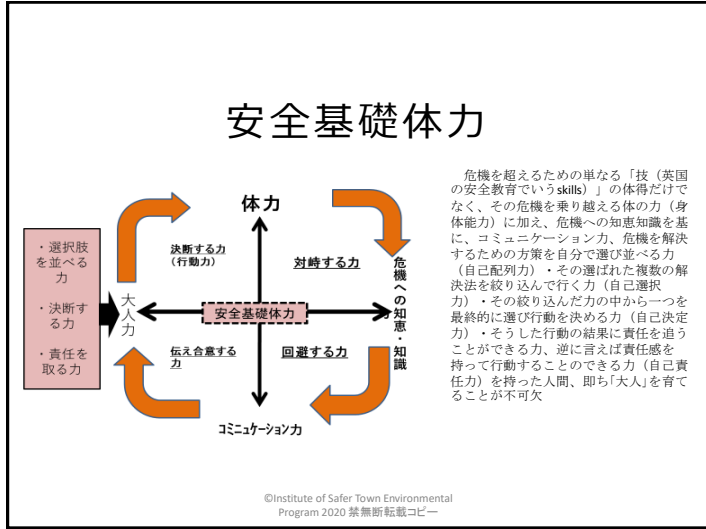
だから
 ・地域の子どもは地域で育てる
 ・地域の子どもの安全は地域で守る

↓

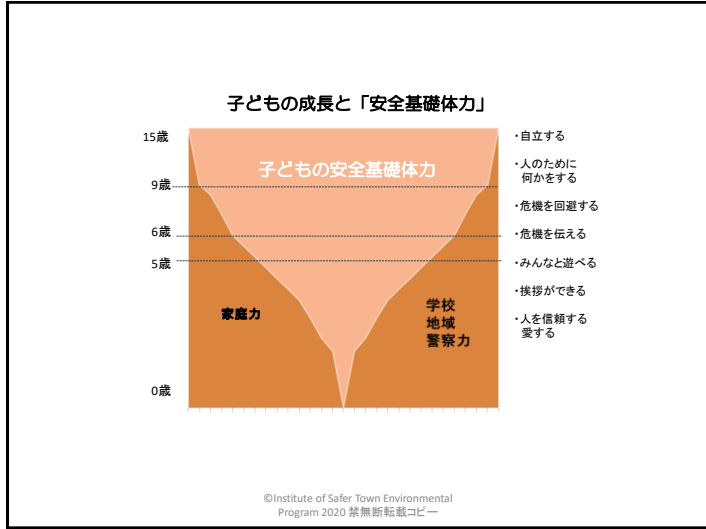
中一長期的に見て
地域の子どもの安全教育は地域で育む

©Institute of Safer Town Environmental Program
 ㈱ステップ総合研究所 禁無断転載コピー転用 14

14



15



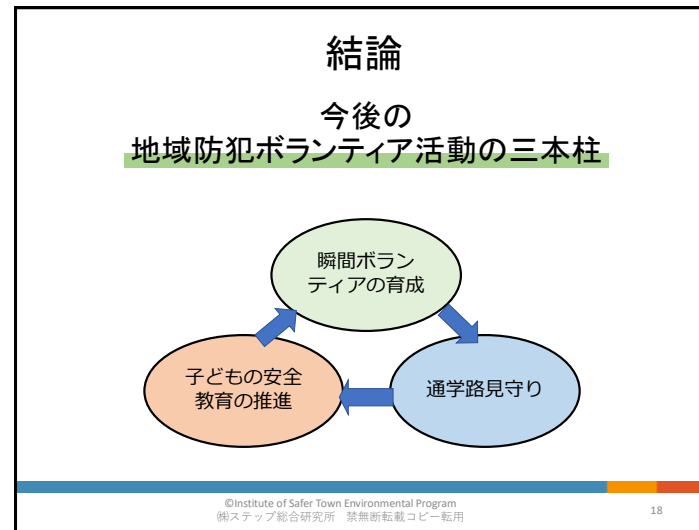
16

	段階	大目標	小目標
幼児	前自助段階	精一杯周りからの 愛を受け入れ償い ることの出来る人 が居ることを体得 する	周りに甘え周囲の 人を信じる力を付 ける
	自助段階	自分自身の力で 危機を乗り越える	自身の体力を身に つける
幼稚園児	共助段階	周りとスクラム組 んで自分の危機を 乗り越える	危機対応の知恵・知識 力を身につける
			コミュニケーションを身 につける
小学生	公助段階	見知らぬ人の為に、 見知らぬ人と手を 組んで危機を乗り越 える	大人力を身につけ (大人になる)
中学生			

©Naho Kiyonaga2008

©Institute of Safer Town Environmental Program 2020 禁無断転載コピー

17



18